

第4回塩津学区

学校運営協議会
報告

令和8年度 学校運営方針承認

塩津CS目標「塩津大好き しおつの子」を一層深化する

令和8年2月20日（金）、第4回塩津CS学校運営協議会が塩津中学校で開催されました。次年度の塩津CSの重点方針等を協議しました。また、熟議では「子どもと地域の大人と一緒に語り合う場のテーマ」について考えました。

【1】 会長挨拶（榊原会長）

先日の研修会（市教委主催：学校運営協議会委員研修会）で「学校運営協議会委員はもっと学校のことを知って学ぶべきだ」（文科省CSマイスター：船坂氏）とご指導いただいた。

児童生徒の思いを受け取り、（協議会委員：地域の大人として）自分たちのやるべきことを考えていくことが必要だと感じた。

① 協議会会長あいさつ（榊原会長）

② 校長あいさつ（石川塩津中校長）

③ 経過報告

- ・学校教育活動
- ・新しい学校づくり委員会
- ・地域学校協働活動

④ 議事（議長：会長）

- ・「学校評価アンケート」結果報告
- ・令和8年度学校運営方針

⑤ 熟議（横田塩津中教頭）

「児童、生徒と語り合いたいこと」

⑥ 教育委員会指導（鈴木指導主事）

⑦ 連絡



【第4回 「塩津CS」学校運営協議会】 ※塩津CS＝塩津学区小中一貫型コミュニティスクール

【2】 校長あいさつ（石川塩津中校長，森塩津小校長）

学校と地域が2本柱で、「子どもたちの育ちに寄り添っていく姿勢や仕組み」をつくりたい。

「地域のご理解」とご協力に感謝し、塩津CSのテーマを両者（「地域と学校」）で確認しつつ、次年度に引き継いでいきたい。



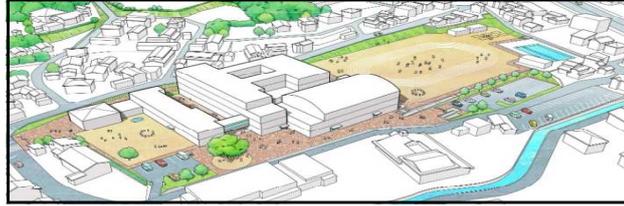
石川塩津中校長



森塩津小校長

建設中の「複合施設」は、令和9年度4月に共用開始になることと、複合施設のニックネームについて次年度の話題にしていきたい。(新しい学校づくり委員会 委員長：森塩津小校長)

地域とともにある学校・町づくりの拠点となる学校 ダイバーシティに対応した空間作り



- 小学校・保育園の接続
- 多様な世代の交流
- 公民館・児童クとの連携
- 小中一貫教育の実施

[3] 地域学校協働活動報告(杉浦推進員, 山本推進員)

■小学校(杉浦推進員)

年間のべ385名のサポーター支援をいただいた。

また、放課後子ども教室も年間8回、のべ205名の参加があった。参加者のほぼ全員が「楽しい、また参加したい」と答えており、次年度も今年の活動を土台にして計画している。

■中学校(山本推進員)

部活支援ではのべ90名のサポーター支援をいただいた。

お昼の休み時間を工夫して、地域の方の様々なパフォーマンスを生徒と楽しんだ。地域の方の満足度も高く、学校も一緒に創り上げていただいた。次年度も、学校を取り巻く大人の輪を広げていきたい。

[4] 学校評価の結果報告

■小学校

児童自身の学校生活への満足度は高い(授業、生活ともに約9割の肯定的評価)。

また、子どもの成長ぶりへの保護者の満足度も高い。さらに、地域に出ていく学びに対する意欲も高い。一方で、保護者と学校の連携・協働はまだ工夫の余地がある。

■中学校

生徒自身の学校生活への満足度は高い(授業、生活ともに9割近い肯定的評価)。

子ども食堂やふれあい活動などで地域に出ていく生徒の姿が増えてきた。

これをチャンスに「地域に出ていく学び」をより一層生み出していきたい。

[5] 令和8年度 学校運営方針

小中ともに、次の姿勢を重点としてあげている。

ふるさと塩津を愛し、積極的に活動に参加・貢献できる子、地域に愛される子を育てたい

小

一人一人が「楽しい」を実感できる 塩津小
～塩津のまちを愛し、塩津のまちに愛される学校～
魅力ある授業づくり 思いやりのある温かい集団づくり
強くたくましい人づくり

中

塩津 大 大 大 大 大 好き！
～「大好き」を行動で魅せる 9年間の最終章～
授業大好き 仲間大好き
ふるさと大好き 自分大好き

【6】 「熟議」 児童、生徒と語り合いたいこと

今回の熟議は、**地域の大人として、学校運営協議会委員として、児童生徒と語り合いたいことは何か**をテーマにした。

次年度、**地域との大人と子ども(学校)と一緒に創り上げる「学び」や「まちづくり」へと繋がっていくことを期待**した。



【熟議テーマ】 児童・生徒と熟議したいこと(話し合いたいこと)は何ですか

【主な意見】

■ 自分たちのまち、塩津の魅力(好きなどころ)は何か

■ 自分と地域のつながりについて

- ・ 地域を感じることに
- ・ 地域の一員と思うのはどんなときに
- ・ 地域活動参加への壁は何か 等



■ 塩津のまちの未来について

- ・ 将来の塩津はどうなっているのか
- ・ 将来の塩津はどうなって欲しいのか 等

■ 将来の夢や夢中になれることは何か

■ 地域の大人に期待することは何か

■ 学校生活の楽しみや抱いている悩み、友だち関係

について

※生徒アンケートを話題に

■ スマホやSNSとの付き合い方

■ 地域にあって欲しい場所や活動

- ・ こんなものがあつたらいいな
- ・ こんなことができたらいいな
- ・ こんなイベントがあつたらいいな 等

■ 住み続けたいと思う塩津にするために

地域とともにできることは何か

■ 新しい学校(建設中の複合施設)に期待すること

- ・ こんな施設にしたい
- ・ こんな施設になるといいな
- ・ こんなことをしたい
- ・ こんな場所にしたい 等



■ 小学校と中学校、そして地域が一緒になってできること

- ・ こんなことができたならおもしろいな
- ・ わくわくするな、楽しいな 等

1 学校経営方針（抜粋）

(1) 教育目標

(2) 塩津小・中学校で6年目に目指す姿

(3) 塩津小がめざすもの（経営方針）

学校運営協議会キャッチフレーズ

塩津大好き しおつの子

一人一人が「楽しい」を実感できる塩津小
～ 塩津のまちを愛し、塩津のまちに愛される学校～

- ① 子どもが主体的に問題の解決に取り組み、仲間や他者と関わりながら、深い学びを実現していくような「魅力ある授業づくり」に励む。
- ② 多様な背景や個性をもつ子どもが、互いの個性や“自分らしさ”を認め合える、笑顔と感謝の心にあふれた「思いやりのある温かい集団（人間）づくり」をめざす。
- ③ 他者との関わりをとおして、失敗を恐れずに挑戦し続けたり、失敗しても立ち直ったりすることのできる「強くたくましい人づくり」をめざす。
- ④ 学校、家庭、地域が一体となって子どもとともに育つ、心をつなげたワンチームとなるように、「塩津を愛し、塩津に愛される学校づくり」に努める。

楽しい



しあわせ



塩津が好きになる

(4) 本年度の重点努力目標

① 「魅力ある授業づくり」を実現するために

- 子どもの思いを大切に授業づくり、仲間や他者と関わりたくなるような授業づくりを意識しながら、一人一人が学びに楽しみを見いだせるような工夫をしよう。
- ICT機器等を有効に活用した授業づくりに積極的に挑戦するとともに、教員同士で情報を共有しながら、子どもとともに楽しんで実践しよう。
- 振り返りを大切にして、意欲（学びに向かう力）と自信を高める機会にしよう。
- 授業で育んだ「自ら考える力」「自ら生み出す力」を日常生活や行事につなげよう。

② 「思いやりのある温かい集団（人間）づくり」を実現するために

- 多様な背景や個性をもつ一人一人の子どもの状況を的確に把握し、温かなまなざしをもって、一人一人に寄り添った「子ども主語」の教育に努めよう。
- 子どもの声を聞き、仲間への優しさや思いやりを育むとともに、自分を認め、自己肯定感を高めることができる教育活動を実践しよう。
- お互いのよさを認め合い、高め合える教職員集団となって、子どもに模範を示そう。

③ 「強くたくましい人づくり」を実現するために

- あいさつや礼儀作法等、他者と円滑に関わることでできる力を育てよう。
- 子どもが自分で考え、判断し、意思表示や挑戦できる場を積極的に設けよう。
- 失敗をしても、自らの力で立ち上がろうとする心を育てよう。
- 目標（児童会スローガン・学年訓・級訓等）を掲げ、子どもとともに常に振り返りながら実践しよう。

④ 「地域を愛し、地域に愛される学校づくり」を実現するために

- 家庭や地域に学校を開き、さまざまな人と関わり合える機会を大切にしよう。
- 幼保こ小中の連携、公民館・児童館との連携を深め、地域で子どもを育てよう。
- 小中一貫教育の推進に向けて、同じ子どもを育てる意識を大切にしよう。
- 地域の「人・もの・こと」を積極的に発掘し、様々な教育活動に活用しよう。

令和8年度 塩津中学校 学校経営方針

(1) 教育目標

教育目標

活みなぎる
さわやかな塩津中
生徒の育成

校訓

- ◇ すずしく（知） → 経営方針①②
- ◇ 豊かに（徳） → 経営方針③④
- ◇ ねばり強く（体） → 経営方針①②

(2) 塩津小中学校で9年目に目指す姿

学校運営協議会キャッチフレーズ

塩津大好き しおつの子

し
お
つ

主体性のある人
思いやりのある人
強くたくましい人

(3) 経営方針

- ① 学びを愛し、主体的に考える力を鍛える **魅力ある授業づくり**をめざす。
- ② 他者を愛し、個性を認め合い、笑顔と感謝にあふれた**思いやりのある集団づくり**をめざす。
- ③ 塩津の方々と思いを共有し、**塩津を愛し、塩津から愛される学校づくり**に努める。
- ④ 自分を愛し、挑戦を通して未来を切り拓く **強く、たくましい人づくり**をめざす。

(4) 本年度の重点努力目標

塩津大大大大好き! ～「大好き」を行動で魅せる9年間の最終章～

① 授業（学び）大好き

- 生徒主体の楽しい授業、学びたくなる(主体的)授業、関わりたくなる(対話的)授業に挑戦しよう。
- ICT機器を活用し、魅力的な授業づくりに挑戦すると同時に、基礎学力の定着を図ろう。
- 授業(TTTを含む)の中で、学級経営と生徒指導(基本的生活習慣)を確立していこう。
- 振り返りを、意欲(学びに向かう力)と自信を高める場にしよう。

② 仲間大好き

- 温かく、積極的な学級・学年・学校経営を通して、通いたくなる楽しい学校にしよう。
- 対話を通して、お互いを表現し合い、認め合うことができる**思いやり**のある集団をめざそう。
- 常に目標(スローガン、学年訓、級訓、授業、諸活動)に立ち返ってふりかえりを継続していこう。

③ ふるさと大好き

- 地域教材(ひと/もの/こと)を積極的に活かした活動(授業、特活)を開拓しよう。
- 小学校・地域(公民館、幼保園など)家庭との協働を深め、小中一貫教育を推進しよう。
- ふるさと塩津を愛し、積極的に活動に参加・貢献できる生徒、地域に愛される生徒を育てよう。

④ 自分大好き

- あいさつ力を強化し、礼儀、感謝などのコミュニケーション能力の高い生徒を育てよう。
- 日常生活や諸活動を通して → 自己肯定感、自己有用感を高め、自分のことを愛せる生徒を育てよう。
→ **主体的に**考え、判断し、失敗を恐れずに **新しいことに挑戦**できる生徒に鍛えよう。
→ **自分の特性を自覚**し、状況に適應できるしなやかさ(=**強さ**)、倒れても**自分の力で立ち上がる**
たくましさ(=レジリエンス)を鍛えよう。